

赤的に近い鉄球の数を競う「ペタンク」を楽しむ参加者



「ペタンク」楽しい!

市民ら仏文化に親しむ

2チームがそれぞれ1リングと同じ要領で六つの鉄球を投げ、カ

弘前

弘前大学フランス語ホームページを運営するグループ「『弘前×フランス』プロジェクト」(代表・熊野真規子准教授)は5月31日、弘前公園レクリエーション広場でフランス発祥の球技「ペタンク」のイベントを開き、学生や留学生、市民ら約50人がフランスの文化に親しんだ。

を競った。参加者たちは青空の下、「惜しい」「ナイス」と声を掛け合い、ゲームを楽しんだ。弘大文学部2年の宮脇千里さん(19)は「のんびりしたスポーツだけど、投げて思ったところに転がるとうれしい」とにっこり。市ペタンク協会会員の田代多美子さん(66)は「学生さんはすごく上手。いつものゲームと雰囲気も違って楽しい」と笑顔で話した。同プロジェクトは本年度から月に1回程度、街中でフランスに関するイベントを行う。次回は6月21日午

後1時15分から、市まちなか情報センターでフランス語で歌を歌うイベントを開く予定。熊野代表は「異文化はすぐ隣にあって直結する関係なんだと知ってほしい」と話した。(佐藤彩乃)

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。